

平成26年度 食品の安全性に関する有害微生物の サーベイランス・モニタリング年次計画

(1) サーベイランス及びモニタリングの実施に当たって、有害微生物リスク管理基礎調査事業により分析を委託する場合は、精度管理を行うこと及び妥当性が確認された分析法を用いること等を条件として競争入札を行い、分析機関を選定する。

(2) 十分なデータが存在せず、汚染状況が不明な場合は、予備調査を実施する。

(サーベイランス)

危害要因	調査の趣旨	具体的な調査対象品目	最低調査点数
カンピロバクター	食鳥処理施設における交叉汚染の実態を解明。	鶏肉及び腸管内容物	検討中
サルモネラ	採卵鶏農場における鶏舎内汚染状況を把握。	鶏卵及び腸管内容物	検討中
	食鳥処理施設における交叉汚染の実態を解明。	鶏肉及び腸管内容物	検討中
	(予備調査) 豚農場における汚染実態を把握。	腸管内容物	検討中
腸管出血性大腸菌	肉用牛農場における汚染実態を把握。	腸管内容物	検討中
	野菜の栽培・調製段階の実態を把握するとともに「栽培から出荷までの野菜の衛生管理指針」の対策の有効性を検証。	レタス、ハクサイ	600
		土壌、水等圃場の環境試料	600
		調製施設の環境試料	1,000
	野菜加工施設における衛生上の管理点を明確化。 衛生管理手法を現場で実証。	漬物・カット野菜等の製品 野菜加工施設の環境試料	1,200
ノロウイルス	二枚貝における陽性率の季節性変化を把握。	二枚貝	検討中
リステリア・モノサイトジェネス	食鳥処理施設の持続汚染実態を把握。	器材、鶏肉及び腸管内容物	検討中
黄色ブドウ球菌	(予備調査) 豚農場における汚染実態を把握。	鼻粘膜	検討中
E型肝炎ウイルス	(予備調査) 豚農場における汚染実態を把握。	腸管内容物	検討中